

1. さくらの森公園の桜



草谷天神社の裏 15,843 m²の台地に桜が約 700 本植えられている公園。花見にはもってこいの場所です。子どもが遊べる遊具や散策道もあります。

◆◆◆ 稲美町 ◆◆◆

2. 曇川沿いの桜



約 1.8 km の間に、約 400 本の桜並木を楽しめます。北山地区の管理であり、魚すくい大会もされています。

◆◆◆ 稲美町 ◆◆◆

3. 教信寺の桜



平安時代前期の僧、沙弥教信が、念仏を唱えながら仏の教えを説き、庶民仏教の普及に努めた庵の跡に建てられたお寺です。境内の樹木のほとんどが桜の木で、春には、満開の桜が境内を彩り、お寺全体を包み込みます。

◆◆◆ 加古川市 ◆◆◆

4. 長楽寺の桜



浄土宗の寺院で、和銅 6 年 (713) 慈心上人の開基です。本尊の「木造地藏菩薩半跏像 (重要文化財)」は、「谷の子安地藏」として安産祈願に訪れる人が絶えません。春の桜と秋の紅葉は見事です。

◆◆◆ 加古川市 ◆◆◆

5. 日岡山公園の桜



35.8ha の広大な敷地に、日岡山古墳群、各種スポーツ施設、公園があります。春には約 1,500 本の桜が咲き誇り、夜には約 300 本のぼんぼりが点灯され、昼夜とおして桜見物が楽しめます。

◆◆◆ 加古川市 ◆◆◆

6. 平荘湖の桜



昭和 41 年に建設されたダムによる人造湖です。湖面にはひょうたん型の島が浮かび、春は桜、みもぞ、夏はあじさい、秋は紅葉、冬は鴨などの渡り鳥と四季を通じて楽しめる自然景観の美しいところです。

◆◆◆ 加古川市 ◆◆◆

7. 鹿島川沿いの桜



満開の桜並木のトンネルが国道 2 号から海辺まで続きます。夜間には照明灯とぼんぼりによってライトアップされ、幻想的な桜がたのしめます。

◆◆◆ 高砂市 ◆◆◆

8. 総合運動公園の桜



ご存じ「早稲田の佑ちゃん」こと斎藤くんが国体で活躍した野球場もある。川をはさんで生石神社への散策にも最適です。

◆◆◆ 高砂市 ◆◆◆

9. 日笠山の桜



東に竜山石の石切場があり、南には瀬戸内の風光明媚なたたずまいが見晴らせるボタン桜の名所です。

◆◆◆ 高砂市 ◆◆◆

10. 喜瀬川の桜



一帯を薄紅色に染める花はもちろん、川面に浮かぶ花びらも風情があって美しい限り。

古代の人々の営みに思いをはせる播磨大古代の村にたどるみち。

◆◆◆ 播磨町 ◆◆◆

11. 姫路城の桜



ヨシノ、ヤマザクラ、シダレザクラなど約 1,000 本の桜が、お城の周囲を取り巻くように咲き乱れます。桜とお城の白壁が融合し、さらにお城の美しさを引き立てています。

◆◆◆ 姫路市 ◆◆◆

12. 三左衛門堀の桜



池田輝政が姫路城築城の一環として、播磨灘からお城外堀まで運河として計画されたのが三左衛門堀、きれいに整備された河川敷の両側に並ぶみごとな桜は、まるでピンクのガードレールのようなです。松や山桃も植えられ、四季を通じて楽しめます。

◆◆◆ 姫路市 ◆◆◆

13. 市川の桜



昭和 59 年～平成 6 年にかけて姫路中央ライオンズクラブが両岸にソメイヨシノを植樹し地域の名所になっています。近くの方々の楽しみだけでなく車を運転するドライバーの楽しみでもあります。

◆◆◆ 姫路市 ◆◆◆

14. 夢前川沿いの桜



日本三彦山の一つである雪彦山麓から発する夢前川。播磨灘までのいたるところで桜が見られます。どこまでもつらなる桜並木と水のせせらぎに心が和みます。桜並木は姫路の奥座敷「塩田温泉」への道しるべです。

◆◆◆ 姫路市 ◆◆◆

15. 名古山の桜



日本一の仏舎利塔がある名古山いっばいに桜が咲き誇ります。満開の桜とドーム状の仏舎利塔、異国情緒たっぷりです。花筏も美しいですよ。

◆◆◆ 姫路市 ◆◆◆

16. 明石公園の桜



全国「さくらの名所 100 選の地」に選ばれており、ソメイヨシノが咲き誇ります。特に剛の池の周辺は桜が多くまたボートに乗ってのお花見も楽しめます。

◆◆◆ 明石市 ◆◆◆

17. 人丸山の桜



人丸山には万葉の歌人柿本人麻呂を奉ってあり、花見客で賑わいます。また階段を上ると明石海峡大橋も望めるビュースポットにもなっています。

◆◆◆ 明石市 ◆◆◆

A. 明石城



段丘の先端部を巧みに利用して築造された明石城。穴太積みといわれる技法を使った石垣は、扇の勾配といわれる美しい反りを持ち、2つの櫓とよく調和しています。

◆◆◆ 明石市 ◆◆◆

B. 葡萄園跡



葡萄樹が一時約 11 万本を数えた葡萄園。明治政府の殖産興業政策の様相を知る上で重要。醸造場建物跡、ガラス温室跡、未開栓を含むワインボトルや陶磁器等が見つかりました。

◆◆◆ 稲美町 ◆◆◆

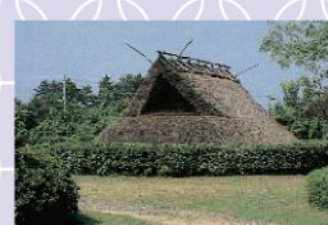
C. 万葉の森



万葉の森は、季節ごとにたくさんの木や草が花を咲かせ、私たちを楽しませてくれています。

◆◆◆ 稲美町 ◆◆◆

D. 大中遺跡



弥生時代中期から古墳時代中期にかけての代表的な遺跡で、古代国家が形づくられようとする時代の社会や暮らしのようすを知る上で非常に重要なものです。

◆◆◆ 播磨町 ◆◆◆

E. 新井水路開削の今里傳兵衛の碑



今里傳兵衛は、干ばつによる水不足を防ぐため、全長 13 km にもおよぶ水路工事を成し遂げ、新井 (しんゆ) 水道と名づけられました。それから 350 年、命の水を与え続けています。

◆◆◆ 播磨町 ◆◆◆

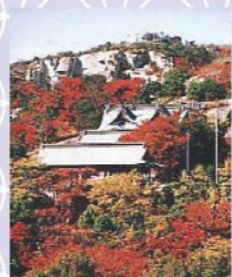
F. 鶴林寺



589 年、聖徳太子の命により建立された「四天王寺聖霊院」がこの寺のはじまりといわれ、播磨の法隆寺とも呼ばれています。「太子堂」や、「聖観音立像」など、国宝、重要文化財に指定された多くの仏教美術が残されています。

◆◆◆ 加古川市 ◆◆◆

G. 生石神社



裏手にある石の宝殿は巨大な石造物で、水面に浮かんでいるように見えることから「浮石」とも呼ばれています。この地で算出する竜山石は播磨や近畿一円のいろんな箇所で使われており、播磨の石の文化の中心地です。

◆◆◆ 高砂市 ◆◆◆

H. 姫路城



日本で初めて世界文化遺産に登録された姫路城。築城 400 年の歴史の中には様々な伝説があります。榊原騒動、棟梁桜井源兵衛の死、お菊井戸、姥が石、武蔵の妖怪退治、そしてお夏・清十郎の話などなど、はまるも抜けられない歴史の魅力です。

◆◆◆ 姫路市 ◆◆◆